

家庭・学校・図書ボランティアの連携で、

## 子どもに読書の楽しさを伝える育友会活動

高森小学校育友会

### 1 学校地域の概要

育友会長 加藤 勝 巳  
 学校長 岩崎 利 充  
 児童数 394名  
 会員数 314名（家庭数290 教職員24）  
 所在地 〒742-0417 山口県岩国市周東町下久原1176  
 TEL 0827-84-0014 FAX0827-84-2600  
<http://www.tke.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/>

#### (1) 校区の概要

校区は周東町の中央にあり、国道2号線、JR 岩徳線が東西に走り南北の交通も開けて、周東町の文化・交通の中核的役割を果たす位置にある。自然環境にも恵まれ、緑豊かな田園に豊富な水量の島田川が流れ、支流を含め美しい景観を醸し出している。

平成4年には、いち早くパソコンが導入され、町・県・文部科学省の指定を受けて研究を進めてきた。平成7年にはインターネットも開通し、マルチメディア先進校の役割を果たしてきた。

また、平成14年度から3年間、人権教育総合推進地域事業の地域指定を受け、人権教育を中核に町内の小中学校と連携を深めながら研究を推進してきた。

一方保護者については、かつての商店主や専業農家が減少し、校区内及び旧岩国市・周南市方面の企業への就労者が多くなり生活の実態も多様化するとともに、子どもへの教育の関心も高くなってきている。



#### (2) 本研究と学校の重点目標との関連

##### ◆ 心の教育を推進します

- 「時を守り、場を清め、礼を正す」は教師が手本となります。

- 教育相談を充実します。
- 学校環境美化に取り組みます。

#### ◆ 学力の向上を図ります

- 基礎的・基本的な学習内容の定着を図ります。
- 読書の楽しさを伝え、読書習慣が身に付くようにします。(関連項目)
- だれでも、いつでも、簡単に使える学習環境にします。

#### ◆ 健やかな体を育成します

- 「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び」運動を推進します。
- もりっこ通信や Web ページを活用し、学校から情報発信します。
- もりっこタイムを工夫し、体力向上をめざします。

## 2 研究主題について

### (1) 研究主題

家庭・学校・図書ボランティアの連携で、  
子どもに読書の楽しさを伝える育友会活動

### (2) 主題設定の理由

読書の楽しさを伝えるために平成 23 年度から保護者が学校応援団「たかもり図書ボランティア」を立ち上げ、教師、読書活動推進員による読み聞かせや、行きたくなる図書室整備、児童管理に支援をしてきた。また、育友会は教育活動補助費から図書館ニュースや図書ボランティアの管理用品を支出してきた。

これまでの家庭・学校・図書ボランティアの連携で行ってきた子どもの読書活動を、さらに推進するために実践研究を進めていきたい。

### (3) 研究仮説

仮説① 子どもの読みたい本を充実させ、快適な読書空間を家庭・学校で準備することで進んで読書する子どもが育つのではないだろうか。

仮説② 家庭・学校・図書ボランティアの連携で読み聞かせを充実させることで読書の幅が広がるのではないだろうか。

### (4) 研究計画及び推進のための組織

- ・ 図書ボランティア、読書活動推進員、教師による読み聞かせ
- ・ 選書会開催
- ・ 親子読書や教師が読書する姿を見せ、本の楽しさを伝える活動
- ・ 司書教諭、図書ボランティア、読書活動推進員による読書環境作り

高森小育友会 { 司書教諭(図書ボランティア、読書活動推進員との連絡調整)  
 広報部(読書活動の案内・広報・情報提供)  
 図書ボランティア(読み聞かせ、貸出、整備)

### 3 活動内容

#### (1) たかもり図書ボランティア活動（図書室連絡ノートから一部抜粋）

- ・ 1月14日

2学期末学校評価で「読書習慣」について保護者はUP！児童はダウンでした。図書の貸し出しは増えていたり、利用者も昨年より多いような気がするのですが。1学期末～2学期中旬にかけてぐーんと伸びたのでそれに比べたらアンケート実施の12月は低いということなのでしょうかね。んーどうしたものか。これから学年末まで少しでも戻せるようがんばりたいと思います。よろしくお願いします。（T）

「読書習慣」を本当に習慣にしたいと思うのですが、難しいですね。（O）

- ・ 1月17日

0先生前半1-1読み聞かせ1-2図書室です。（T）

- ・ 1月20日

人権学習コーナーを広いところに移していただきました。新しい本も少し入れて、だいたい各分野の本がそろったのではないのでしょうか。（O）

- ・ 2月5日

図書室マナーのことで、いろいろお世話をおかけしました。ストーブの件でもご迷惑をおかけしております。どんどん注意してください。入り口に立て看板をつくるのはどうでしょう。（O）

- ・ 2月7日

図書室のマナーが改善され、静かに読書する子が多かったです。（K・T）

- ・ 3月4日

机の上に置いた「クイズ」を持って「これまだ帰ってきてないーん」といってくれる子がいてうれしいですね。検定クイズの「問題」を作っていない本も、今度作りましょう（Y）

- ・ 3月24日

一年間お世話になりました。初めての読書活動支援員ということで、とまどうことも多くご迷惑をおかけしたと思います。私なりにがんばってボランティアの皆様と共に子どもたちによりよい読書環境を提供できるよう、努めさせていただきました。（O）

- ・ 4月30日

図書ボランティア、今年は5名の方が来てくださいます。3人は昨年度までいらした方で、2人は新規さんです。（T）

- ・ 5月2日

今日の昼休み図書館利用者は本当に本が好きで静かに読書をしたい子が来ました。（O）

- ・ 5月20日

昨日の研修（司書教諭研修会）で「図書室は誰かの居るところ」にしてくださいと言われて



ました。ボランティアさんの存在に感謝です。(T)

・5月23日

一年生は返却する本、借りる本をずらしてバーコードを読みやすくしてくれる子が増えています。図書室では小さな声で話すということもきちんと守ってくれる子がいます。(Y・M)

・6月4日

昼休みの図書室はこれでもか！というほどの大人数でした。貸し出し返却数も100冊を超えていました(K・T)

・6月16日

3・4年生に課題図書・指定図書のブックトークをしました。担任の先生からも読み聞かせ等していただけたそうです。(O)

・6月23日作業日

来月の当番がきまり前項に貼っています。七夕飾りはブックカバー貼りがたくさんあったので26日にやりたいと思います。(Y・Y・I・M・H・T)

・6月26日

七夕飾りの作成をしました。図書室の後方に笹を置いてみました。たくさんの願い事で笹がにぎやかになればいいなあと思います。(T・I・M・H)

・7月11日

七夕飾りありがとうございました。(K・T)

・9月4日

私がカバー貼りをしていると、何人かの児童が集まって来て「何しよるん」から始まり、少し会話を。なぜカバーを貼るのか、誰がする仕事か、本は誰が買ってe t c・・・面白い。本がただでないこと、人の手がかかっていること、だから本を大切にせんといかんよね。きっとそうしてくれそう。また話そうか、そんな昼休みでした。(T)

・9月22日作業日

掲示物の張り替えをしました。おすすめの本利用してくれるといいですが。(Y・Y・I・M・T)

・10月20日作業日

カラーボックスを3つつないで窓際に置く本棚になりました。組み立てジョイントでつないでと、まさに作業。何より窓から乗り出して外をのぞく児童の危険防止につながればと思います。本に親しみやすくなる環境づくりこれからも工夫していきたいと思います。(Y・Y・I・M・H・T)





本当にお世話になりました。図書室の雰囲気がよくなり、楽しくなります。(0)

・10月22日

水曜日の2年生の読み聞かせの時、中学生の皆さんも楽しそうに聞いてくれました。

(0)

・10月24日

5時間目1年生の返却貸出、特に問題もなくスムーズでした。なかなか借りる本が決まらない子もいるので、アドバイスできるように私たち自身がいろいろと本を読んで、子どもに紹介できるようにしておけばいいなと感じました。(I・M)

・11月17日作業日

12月の当番表づくりとクリスマスの飾りを出しました。そろそろ勇気を出して読み聞かせをしてみようかと考えています。とりあえず12月の水曜日昼休みに図書室で行ってみたいと思います。(Y・Y・I・M・T)



12月3、10日の読み聞かせよろしくお願います。先生方にお伝えしたところ大変喜んでいました。(0)

・12月3日初読み聞かせ

昼休み初読み聞かせ。Iさんがサポートしてくれて大助かり低学年を先生が連れてきてくださり、ありがとうございました。来週もやってみようと思いました。(Y)

## (2) 図書室って面白い

図書ボランティア活動が発足して3年。月に1度の作業日には、季節に合った掲示や本の提示をし、週に3日の昼休みには図書委員の児童とともに貸出返却補助や棚の整理、時に折り紙や読み聞かせを催して子どもたちが本に親しみ快適な図書室利用ができるお手伝いをしています。

昼休みの合図とともに、本の好きな児童たちが一人二人と集まってきます。人気の本をなかなか借りられず返却が待ち遠しい様子の児童、廊下の掲示物に載ってある本を尋ねてくる児童、慣れた高学年の児童は返却本の棚の位置を教えてくださいます。

新学期当初、文字を指で追いながら一生懸命一語一語かみしめるように読み、「この字何です

か？」と聞いてきた1年生も、最近「この本ね、ここが面白いよ」と感想を伝えてくれるまでになりました。3年生の女子はお菓子の頁を広げ、「これ日曜にお母さんと作るよ」と教えてくれ「そう、上手に作れたらおばちゃんに教えてね。」と返します。ある男子は「お父さんが魚が好きじゃけ魚がいっぱい出とる本借りたいよ」と。本を介しての会話ですが子どもたちの顔は実に楽しそうです。

読書離れが深刻になっています。張り切ってディスプレイした本がなかなか受け入れられない事もありますが、子どもたちにイメージやアイデア、表現力、好奇心、繋がり、選択肢・・・口では到底伝えきれない知識を読書を通じ、お金では買えない財産を得てくれたらと親の立場からも願っています。

下記の本は、今とても人気のある本です。ご家庭で話題にしてみてもいかがでしょうか？

かいけつゾロリ ほねほねザウルス 九九パーフェクト 学研まんがひみつシリーズ 科学漫画サバイバルシリーズ、一期一会。(文責 図書ボランティア T)

### (3) 図書ボランティア、読書活動推進員、教師による読み聞かせ

#### ① 朝読書、先生による読み聞かせ

読み聞かせをすることで、自分が選ばない本との出会い、いろいろな人との出会いができるとの考えからです。

#### ② 図書ボランティアによる読み聞かせ

図書室連絡ノートの12月3日からドキドキしながらスタートしました。「読書している姿を子どもに見せる」「読み聞かせをする」をまずは保護者である図書ボランティアから始めました。

#### ③ 読書活動推進員による読み聞かせ

ある時は教室に向き、ある時は給食時の校内放送で年間103回実施しました。昼の校内放送で毎週月曜日に実施している読み聞かせを楽しみにしている児童や、その本を借りるために図書室に来る児童も増えました。

### (4) 図書ボランティア・読書活動推進員による読書環境作り(センスアップ図書室)



(今回の助成で取り付けられたラックを利用した書架)

### 図書室の掲示・配架について

- ① 図書室の2本の柱利用  
掲示スペースとして利用する。明るいテーブルクロスを貼り付け図書室を楽しい雰囲気になっている。
- ② カウンターには分類表を掲示。
- ③ 前面の壁には「図書の使い方」を掲示。
- ④ 前面の棚は目に付きやすいので、「あたらしい本」コーナーとした。
- ⑤ 本棚の一番上は、展示スタンドを置きディスプレイとして使用。
- ⑥ 廊下の掲示板はテーマを設け定期的に張り替えをしている。  
P7～P8の「センスアップ図書室」に写真を掲載。

## 5 成果と課題

### (1) 学習状況調査からの分析

「新聞を読んでいますか（高小 18.8%全国 27.1%）」「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか（高小 71.0%全国 63.4%）」「読書は好きですか（高小 55.0%全国 73.0%）」「授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）10分以上の合計（高小 52.0%全国 64.7%）」など、読み書きについて全国平均と比較し課題が見えてきました。

#### ・新聞の活用

「イチオシ新聞」「読売ワークシート通信」や教師による新聞記事の紹介などで、記事を読み自分の考えを書かせる活動や、新聞記事を読み上げてゲーム形式の聴写をすることで新聞に興味をもたせます。

#### ・読書活動の充実

隣接する図書館と連携して学級文庫を充実させています。そのため、朝や休憩時間に読書に親しむ児童が増えてきていることが分かりました。全校で月1回の「親子読書」の取組を確実に実施し、「もりっこがんばりカード」を活用し家庭での読書時間の確保を促していきます。また、小学生への読み聞かせの大切さ、学力との相関関係を保護者に伝え、家庭で一切読書をしなない3割の児童を減す取組を行います。

### (2) センスアップ図書室（読書環境整備の一環、掲示）



（読書週間の啓発）

(読書感想画 優秀作品)



(クリスマスの本)

(人気ランキング)





### (3) 図書ボランティア・読書活動推進員・司書教諭の連携

抜粋して紹介した「図書室連絡ノート」相互の連携を深める一番の絆となっています。

### (4) 図書の貸し出し冊数

貸し出し冊数	4月	606冊
	5月	1391冊
	6月	1591冊
	7月	364冊 (蔵書整理のため閉館)
	9月	1443冊
	10月	1607冊
	11月	1269冊

授業中に調べ学習のため図書室を訪れた児童が、推進員にアドバイスを求めるようになってきました。また、選書会や巡回図書で購入した新刊が貸し出しできるようになった6月と10月は図書室を訪れる児童が増え、貸し出し冊数も増えています。

### (5) 今後の課題

「親子読書や教師が読書する姿を見せ、本の楽しさを伝える活動」という取組は、親にとって大変ハードルの高い課題でした。「家庭のことまで口出ししてほしくない」とか「仕事で疲れて帰って出来ない」と言う意見を当初はよく耳にしました。

山口県PTA連合会研究指定などにより、選書会、読み聞かせの拡大、センスアップ図書室をすることができました。このような、様々な取組が子どもや親に伝わり、読書活動の広がりが感じられるようになりました。

今後、これらの取組を継続をすることで、読書習慣をすべての児童に付けていきたいと考えます。



(図書ボランティアによる貸し出し)